

# 葛川をきれいにする会

-活動記録集-

第13号

(平成27年4月～平成28年3月)



平成27年11月21日花月橋にて

葛川をきれいにする会編集委員会

## 葛川をきれいにする会活動記録集 第13号 目次

頁	
1	葛川憲章
2	平成27年度葛川の清掃記録＊重量等資料提出町役場環境課＊
3	平成27年「葛川をきれいにする会」第14回定期総会報告書
4	平成27年「葛川をきれいにする会」6月定例会報告書
5	平成27年「葛川をきれいにする会」9月定例会報告書
6	平成27年「葛川をきれいにする会」12月定例会報告書
7	平成28年「葛川をきれいにする会」3月定例会報告書
8	平成27年6月「葛川水系 水質調査 水質測定記録」
9	平成27年8月「葛川水系 水質調査 水質測定記録」
10	平成27年12月「葛川水系 水質調査 水質測定記録」
11	平成28年3月「葛川水系 水質調査 水質測定記録」
12	葛川等の水質検査(CODの測定結果) 「葛川をきれいにする会」調査
13	葛川等の水質検査(BODの測定結果) 「二宮町役場」調査
14	湘南工科大学学生八木君の感想文
15	葛川の清掃作業風景写真 N01
16	葛川の清掃作業風景写真 N02
17	会則
18	会員名簿
19	関係先リスト
20	平成28年度予定表
21	地図(二宮町:葛川に架かる橋)

8.9.10.11.12.13の原稿は藤田尚志氏です。

### 特別頁

二宮町を流れる葛川の歴史 原稿は野谷 悦氏です。

1. 葛川環境の歴史
2. 葛川のはなし
3. 吾妻山と巖島神社 2頁
4. 上記の続く
5. 万年堰と灌漑用水路景観図
6. 万年堀について
7. 万年堀の地図
8. 大正5年頃の堂面堰景観図
9. 大正時代(大正5年 1916年)の堂面堰の自然プールについて
10. 原田堤と原田用水
11. 二宮町田畑用水路(1815年頃, 将軍徳川家斉)
12. 葛川の横行水利権の現状調べ
12. よみがえれ葛川の清流(1, 978年・昭和53年朝日新聞記事より)
13. コイが住める清流に(1, 978年・昭和53年・朝日新聞記事より)

## 葛川憲章

- 1 葛川を蘇らせるための清掃とあわせて、町民の「川をきれいにする」という意識を育みます。
- 2 失われつつある葛川の自然環境の復元と水質保全をはかります。
- 3 「水のある風景」としての葛川を守るために街並みや景観の保全につとめます。
- 4 誰でもが水遊びのできる、きれいな安全な川としての親水性を考えます。
- 5 「川は財産」と考え、町民に広く呼びかけて基金を設立し、維持管理など財産をまもるための活動を支えます。

---

平成13年10月に最初の葛川の清掃を始めてから14年の月日がたちました。いよいよ15年目に突入です。今回当初からの会員野谷悦祿が「葛川の歴史」を編集整理されましたので掲載いたしました。先人の努力に頭が下がります。今年度は地域の皆様にもっともっと私共の活動を理解していただくと共に新会員募集もかねて織り込み広告を毎月出すことにしました。これからもより一層きれいな葛川を目指して会員一同努力したいと思います。



平成27年12月5日玉川用水取り入れ口の見学会催行羽村市郷土博物館前にて  
ホームページ <http://www.scn-net.ne.jp/~kuzukawa>  
湘南工科大学 太田安希子さん（指導二見助教授）の努力で



NO	通算	作業日	清掃区間	参加者			ゴミ袋		重量 Kg	備考	
				人数、名	男子	女子	学生	20L			5L
A		3月7日	新西谷戸橋～清水橋	—				—	—	降雨中止	
B	201	3月21日	新西谷戸橋～清水橋	17	12	4	1	22	1	95	
			～小田厚道下								
1	202	4月4日	田端橋～北根橋～前田橋	13	10	2	1	25	1	135	自動車部品
2	203	4月18日	前田橋～新西谷戸橋	17	13	2	2	16	3	55	
3	204	5月2日	小田厚道下～軒吉橋	16	11	3	2	11	2	85	
		5月16日	軒吉橋～萬年橋	—				—		—	降雨中止
4	205	5月17日	◇	13	9	2	2	13	2	80	16日の代行
		6月6日	萬年橋～妙見橋～花月橋	—				—		—	雨水の為中止
5	206	6月7日	◇	16	12	2	2	10	3	75	6日の代行
6	207	6月20日	花月橋～内輪橋～新田橋	19	13	3	3	13	3	120	
7	208	7月4日	新田橋～鍛冶屋橋	14	8	3	3	6	3	40	
8	209	7月18日	鍛冶屋橋～塩海橋	14	8	4	2	9	3	75	雨傘が多い
9	210	9月5日	塩海橋～下浜橋	14	11	2	1	18	4	100	空缶が多い
10	211	9月19日	下浜橋～大磯町境	11	9	2	—	9	3	25	
11	212	10月3日	新西谷戸橋～清水橋	13	10	2	1	7	2	25	
		10月17日	清水橋～高速下～葛川橋	—				—		—	降雨中止
12	213	10月18日	◇	10	8	2	—	9	2	80	17日の代行
13	214	11月7日	葛川橋～軒吉橋～萬年橋	18	13	4	1	15	4	60	雨傘が多い
14	215	11月21日	萬年橋～妙見橋～花月橋	17	12	4	1	18	1	95	毛布、麻袋各1枚
15	216	3月5日	花月橋～内輪橋～新田橋	15	11	4	—	28	1	—	2016年
		3月19日、20日									2日間とも降雪で中止
16	217	3月21日	新田橋～鍛冶屋橋	11	9	2	—	22	2		
			合計	248	179	47	22	251	40	1,145	

注 A、Bは葛川をきれいにする会の活動としては平成26年度

#### 参考資料

平成16年	5,421Kg	平成23年	1,335kg
平成17年	1,721Kg	平成24年	1,436kg
平成18年	2,1392Kg	平成25年	1,732kg
平成19年	1,225kg	平成26年	1,265kg
平成20年	1,314Kg	平成27年	1,145kg
平成21年	974Kg		
平成22年	1,225Kg		

## 平成27年4月「葛川をきれいにする会」第14回定期総会

総合司会 小林 弘

開催日 平成27年4月11日（土曜日）9：30～11：00  
 会場 二宮町民センター  
 出席者 野谷、小林、鳥居、藤田、細川、秋沢、門脇、西園、添田、横山、飛澤、門脇 13名  
 委任状提出 名川、佐藤久大、長谷川、奈良、峯尾 5名 正会員20名  
 学生会員 杉崎 総会成立

最初に議長を選出 野谷 悦氏

議事 平成26年度清掃活動 第12号記録集に詳細掲載しました。 報告者 代表 門脇義昭

- 比較的好天に恵まれ順調に清掃活動が出来ました。  
特に下流になるほど腐蝕（機械部品等）が多く総計1,265Kgでした。
- 湘南工科大学から前半3名の若者の参加がありました。
- 湘南工科大学から後半1名の若者の参加がありました。

平成26年度水質調査及び水生生物調査について 報告者、担当役員藤田尚志  
 詳細は記録集に掲載  
 ＊アコの遡上を実現＊するように今後考える

平成26年「会計報告」 詳細は別紙を参照下さい 報告者 担当 細川三男

会計監査報告 監査 峯尾様不在  
 代表門脇報告

質疑応答 特にはない。

人事関係 役員改選の年です。 代表 門脇・事務長野谷・会計細川・水質調査等藤田・監査峯尾  
 2年後代表の交代を門脇申し出る

平成27年度予定 報告者 代表 門脇義昭

① 清掃計画は記録集22頁の計画で了解 ②清掃区間を延ばし年二回清掃の  
 区間を作成いたしました。 参加者了解

② 定例会開催について検討 取り扱いを事務局長に一任 従来の形式を変更  
 年4回開催の中2回を会議後親睦会を開催

③ 予算案の審議 参加者全員の賛成で可決

④連絡網の復活  
 門脇→ 野谷→ 佐藤準、堀見、添田  
 細川→ 小林、鳥居  
 藤田→ 秋沢、西園、長谷川、門脇  
 奈良→ 飛澤、市川  
 門脇→ 学生、佐藤久大、名川、横山、原兼工務店 大筋了解  
 新会員

④ 研修旅行（12月5日で如何でしょうか） 実施 12月第一土曜日で決定  
 目的地 一例 羽村市玉川用水取水口 & 代表に一任  
 奥多摩 小河内ダム

研修旅行に関し後日神田交通社と打合せ

## 「葛川をきれいにする会」6月定例会

開催日 平成27年6月13日（土）18：00～  
 場所 ワイワイ亭「田舎者」  
 参加者 門脇、藤田、細川、島居、塩見、横山、西園、佐藤準、野谷  
 司会 野谷

### I 報告事項

#### 1 清掃関係

##### 門脇より報告

- ① 4月4日 田端橋下流～下北根橋～前田橋 参加者 13名（男10、学生1、女2）  
 今回の清掃範囲を広くした 可燃物22袋 他4袋 合計26袋 錆びた車部品多数あり
  - ② 4月18日 前田橋～新西谷戸橋（従来通り） 参加者 17名（男13、学生2、女2）  
 可燃物13袋 他6袋 合計19袋 錆びた屑鉄多数あり
  - ③ 5月2日 小田厚道下～葛川橋～軒吉橋 参加者 16名（男11、学生2、女3）  
 今回の清掃範囲を広くした 可燃物8袋 他5袋 合計13袋 錆びた屑鉄多数あり
  - ④ 5月17日（日曜日） 軒吉橋～萬年橋（従来通り） 参加者 13名（男9、学生2、女2）  
 前日降雨、増水で中止 可燃物10袋その他4袋 合計15袋  
 貝が堤橋の橋桁に流木等が絡まり撤去に一苦労、毎年の事であるが。
  - ⑤ 6月7日（日曜日） 萬年橋～妙見橋～花月橋 参加者 16名（男12、学生2、女2）  
 前日降雨、増水で中止 \*小学5年生の参加あり：母同伴\*  
 今回の清掃範囲を広くした 可燃物7袋 他6袋 合計13袋 錆びた屑鉄多数あり
- ⑥ 湘南にのみや海岸530キャンペーン（町制施行80周年記念事業）が平成27年5月30日（土）に梅沢海岸で行われました。当会からは野谷、秋沢、藤田の皆様が参加されました。

#### 2 水質調査関係

藤田氏より報告

#### 3 経理関係

細川担当

#### 4 その他

##### 門脇より

平塚土木事務所 4月28日 野谷、秋沢両氏と共に何う  
 新担当 主任技師 藤井氏  
 町役場 5月11日秋沢氏と何う 担当青柳さん

MAXV二宮 5月28日佐藤久大氏とお茶を取りに行く

##### 活動記録集12号配布

給会に出た方以外に正会員は持参 前年までの学生会員にも郵送  
 賛助会員は持参、郵送半々  
 平塚土木事務所、町役場、ASA二宮、持参 湘南工科大学郵送  
 河川協会、神奈川新聞、郵送



← MAXV二宮より引き取ってきたお茶

以上報告後質疑応答

- ① 200回清掃記念をどうするか  
 → 催行する方針で広く会員のアイデアを求める
- ② 会員を増やすのには→  
 広く会員のアイデアを求める

### 1 「葛川をきれいにする会」の将来について

- ◎ 話し合いを重ねその都度出来ることから取り入れる



## 「葛川をきれいにする会」平成27年9月定例会

開催月日時間場所 平成27年9月12日 9:30～ 町民活動サポートセンター  
司会(議事進行) 野谷事務長  
出席者 野谷・藤田・西園・細川・門脇 5名

報告 最初に野谷様から「葛川」の大腸菌の話があり現在の数値では「水浴び」には向かない、と数値を示され説明がありました。

### 清掃関係 報告者門脇

6月20日 花月橋～内輪橋～新田橋 今回より距離長くした。  
参加者 19名(成人男子13 成人女子3 大学生3)学生八木君が新規参加  
拾ったゴミ内訳 可燃ゴミ10 缶3 その他3 計16袋 他厨鉄多数  
7月4日 新田橋～鍛冶屋橋 昨日の降雨で少し増水していたが慎重に作業。  
参加者 14名(成人男子8 成人女子3 大学生3)  
拾ったゴミ内訳 可燃ゴミ5 缶1 その他3 計9袋 他厨鉄少々  
7月18日 こゆるぎ橋～塩海橋 今日で学生杉崎・清水君作業時間満了  
参加者 14名(成人男子8 成人女子4 大学生2)  
拾ったゴミ内訳 可燃ゴミ8 缶1 その他3 計12袋 他自転車の車輪  
9月5日 塩海橋～下浜橋 今回からゴミ集積場所が変更  
参加者 14名(成人男子11 成人女子2 大学生1)  
拾ったゴミ内訳 可燃ゴミ11 缶6 その他3 計20袋 他傘が多い

水質調査関係 藤田担当より 別紙のように8月27日実施

会計報告 細川担当より別紙の様に報告。おおよそ予算案通り

その他報告 ① 6月13日6月定例会を「ワイワイ亭田舎者」で開催  
② 8月7日湘南工科大学訪問・杉崎君の活動報告を聞く  
野谷・藤田・細川・門脇参加 清水君は欠席

二宮町役場生活環境課・青柳さん長期欠席 担当須田副主幹  
〳 企画政策課広報統計班 担当田分康太  
\* 広報お知らせ版 \* 担当  
〳 企画政策課企画調査班 担当高澤 晃  
\* 葛川サミット担当 \*

### 説明 野谷事務長より \* 葛川サミット \*

10月1日鑑賞会 14:00～16:00(開場13:30)  
展示会 9月26日(土)27日(日)10月1日(木)  
掲示内容参加者に提示→大筋了解 詳細未着ながら  
準備は進める

ただし1点  
「水質データ」は提示でないのを使用  
藤田氏に原稿メール依頼

今後の予定の中「研修旅行」について相談  
近々神田交通を細川氏と訪問了解得る。  
その他討議 綱長の裏庭について野谷様に調査依頼  
以上



8月7日・湘南工科大学にて杉崎君の報告

## 「葛川をきれいにする会」平成27年12月定例会

開催日 平成27年12月12日 場所 ワイワイ亭「田舎者」 時間 18:00～  
 参加者 野谷、藤田、堀見、鳥居、西園、飛澤、門脇  
 司会 野谷  
 報告事項

清掃関係 門脇より	9月19日 (土曜日)	参加者(11名 成人男子9 女子2) 清掃区間 下浜橋～大磯町境 清掃内容 20L袋8 小袋4 合計12袋 *町境近く水深深く清掃出来ず*	天候 晴
	10月3日 (土曜日)	参加者(13名 成人男子10 女子2 学生1) 清掃区間 新西谷戸橋～清水橋 清掃内容 20L袋7 小袋2 合計9袋	天候 晴
	10月18日 (日曜日)	参加者(10名 成人男子8 女子2) 清掃区間 清水橋～葛川橋 清掃内容 20L袋9 小袋2 合計11袋	天候 晴 *17日降雨
	11月7日 (土曜日)	参加者(18名 成人男子13 女子4 学生1) 清掃区間 葛川橋～万年橋 清掃内容 20L袋20 小袋1 合計21袋	タイヤ2個 天候 晴
	11月21日 (土曜日)	参加者(17名 成人男子12 女子4 学生1) 清掃区間 万年橋～花月橋 清掃内容 20L袋18 小袋1 合計19袋 今年は終了	参加者多くゴミも多し 天候 晴 缶が5袋と何故か多い

◎清掃地域の住民に参加を呼び掛けるビラを配布したら如何か→3月定例会で検討

研修旅行関係 12月5日 天候晴 参加者15名 \*事故なく終了\*  
 二宮発8:30 最初に羽村堰→羽村郷土博物館→小河内ダム→青梅鉄道公園→二宮着17時



玉川用水取り入れ口の少し上流にある羽村堰



東京都の水ガメ、小河内ダム見学



羽村郷土博物館前にて  
玉川用水開発の歴史等が  
詳細にてんじされてる



羽村郷土博物館に併設されてる  
赤門と民家(旧下田邸)



青梅鉄道公園は鐵道開業時使用された  
11台の蒸気機関車等鐵道文化財が  
屋外に展示されていた。



## 平成 28 年 3 月定例会

司会 野谷事務長

開催日 3月9日 9:30~11:00 にのみや町民活動サポートセンターにて

参加者 野谷. 鳥居. 藤田. 横山. 門脇

代表より ①. 2月8日 細川氏と平塚土木事務所 藤井氏訪問・活動記録 CD と写真 L 判 28 枚提出

\* 清掃の重量は別紙参照 1,732Kg

\* 2月19日 山崎氏(全担当臨時職員)より2日清掃日増やし2回にと電話あり  
現状では難しいと伝える

②. 2月16日 山西小学校で講演会(秋沢. 藤田. 細川. 野谷. 門脇参加)

③. 2月18日 町役場広報担当国分氏に28年前期予定表提出し広報に掲載依頼

④. 3月5日 葛川の清掃(花月橋~新田橋)

参加者15名(男子11名 女子4名) 新会員 遠藤恒夫様 参加

ゴミ 20L 袋 28袋 非常に多かった

◎雨天中止の連絡と翌日清掃が出来る状況の時の連絡について

⑤\* 湘南工科大学より八木君の発表会の通知なし\*

水質調査 ⑥. 藤田氏より 葛川の水質調査 (12月15日と3月1日) 報告

会計報告 ⑦. 細川氏より 会計報告概略 細川氏所要あり欠席

「神奈川県平塚土木事務所」より入金ありと伝言があった。

その他 4月9日(土曜日)平成28年度定期総会(9時30分~ 社会福祉センター3階で)

イ 清掃地域へのPR(チラシ投函) \*ASAに見積依頼 @3.5円 印刷機500円  
\*1年間 1回200枚 依頼をする事了解

ロ 二宮小学校へのPR(原様から山西小学校同様二宮小学校でもー)

\*6月3日18:40 社会福祉センターで野谷さんを中心に葛川の講演会有り  
「葛川をきれいにする会」でも参加者を募集する\*

ハ 研修旅行について 小田原市鴨宮「汚水処理場」「山北町三保ダム」「荻窪用水」?

ニ その他 \*4月1日会計監査を実施

\* 人事: 代表の人選を野谷さん中心に今後進める



2月16日. 山西小学校講演会風景



3月1日  
神奈川県環境科学センターにて水質分析

平成27年6月2日 葛川水系 水質測定記録 (全リン、全窒素、COD、pH、導電率)

葛川をきれいにする会  
地域の環境を良くする会

採取年月日 2015.6.2(火) 天候 晴れ 参加者 秋沢久男、大畑栄伸、藤田尚志

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	21	22	
採取時間	8:48	8:40	8:16	8:18	8:06	8:08	8:03	8:57	9:57	9:20	9:27	9:10	8:27	
水深 cm	4	43	22	16	23	21	18	17	25	31	93	8	25	
水温 °C	17.8	20.3	20.2	22.3	20.3	20.5	20.9	21.5	24.0	23.2	20.5	20.0	23.3	
臭気												臭いあり		
その他										黄緑色		少し色あり		

◎ : 採取場所

- |                 |                |               |
|-----------------|----------------|---------------|
| 0 一色水田横         | 6 葛川・田代川合流後    | 12 田代川・源流     |
| 1 秋沢牧場横         | 7 葛川・田端橋上流     | 13 田代川・富士見が丘下 |
| 2 打越川・葛川への合流点手前 | 8 葛川・下浜橋上流     | 14 田代川・デニーズ橋  |
| 3 葛川・打越川への合流点手前 | 9 葛川・プリンスゴルフ場横 | 21 葛川源流       |
| 4 田代川・葛川への合流点手前 | 10 葛川・宮向橋・中井町  | 22 葛川橋下流(西友横) |
| 5 葛川・田代川合流点手前   | 11 葛川・巖島合流手前   |               |

測定年月日 2015.6.2(火)

参加者 秋沢久男、大畑栄伸、藤田尚志

(鷺山 亨)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	21	22	
サンプル量 cc	100	100	100	100	100	100	100	100	100	50	100	50	100	
測定量 cc	1.72	3.18	2.76	2.74	3.32	2.63	2.68	2.02	2.68	6.32	1.54	5.74	2.98	
ブランク測定量cc	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	
補正測定量 cc	1.22	2.68	2.26	2.24	2.82	2.13	2.18	1.54	2.20	5.84	1.06	5.26	2.50	
COD	2.44	5.36	4.52	4.48	5.64	4.26	4.36	3.08	4.40	23.36	2.12	21.04	5.00	mg/L
PH	7.77	7.54	7.78	7.54	7.67	7.61	7.64	7.91	8.12	8.09	7.66	8.48	7.73	
導電率	21.8	30.1	41.4	33.9	40.1	38.0	37.8	32.9	37.5	44.2	34.2	50.0	33.5	ms/cm
全N(窒素)	1.42	3.88	3.43	4.53	2.69	4.01	3.85	5.91	3.47	4.96	8.08	12.96	4.90	mg/L
全P(リン)	0.44	0.53	0.52	0.39	0.37	0.37	0.39	0.25	0.37	1.21	0.27	1.43	0.19	mg/L

- 前日の雨で、葛川は洗われたが5月の少雨で水量は多くなかった。
- CODは葛川源流で21.04、宮向橋で23.36と高めであった。
- pHは葛川源流、宮向橋と下流の下浜橋で8以上であった。
- 導電率は葛川源流と中井・宮向橋が高かった。
- 全窒素は源流、巖島湿性公園が高かった。一色水田横は低かった。
- 全リンは葛川源流と宮向橋が高かった。



調査地点写真 5の場所



調査地点写真 22の場所



平成27年8月27日 葛川水系 水質測定記録 (COD、pH、導電率)

9月1日

葛川をきれいにする会 地域の環境を良くする会

採取年月日 2015.8.27(㊦天候 くもり)

参加者 門脇義昭、秋沢久男、藤田尚志、八木智秋(湘南工科大学)

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	21	22
採取時間	8:51	8:41	8:20	8:22	8:08	8:10	8:05	9:05	10:10	9:30	9:38	9:20	8:30
水深 m	7	46	22	21	8	16	22	-	-	31	61	8	22
水温 ℃	20.6	22.3	22.3	23.7	23.3	23.3	23.3	23.3	24.2	24.8	20.9	25.8	23.7
臭気													
その他													
水生生物													

◎ : 採取場所

- |                 |                |               |
|-----------------|----------------|---------------|
| 0 一色水田横         | 6 葛川・田代川合流後    | 12 田代川・源流     |
| 1 秋沢牧場横         | 7 葛川・田端橋上流     | 13 田代川・富士見が丘下 |
| 2 打越川・葛川への合流点手前 | 8 葛川・下浜橋上流     | 14 田代川・デニーズ横  |
| 3 葛川・打越川への合流点手前 | 9 葛川・プリンスゴルフ場横 | 21 葛川源流       |
| 4 田代川・葛川への合流点手前 | 10 葛川・宮向橋・中井町  | 22 葛川橋下流(西友横) |
| 5 葛川・田代川合流点手前   | 11 葛川・殿島・合流手前  |               |

測定年月日 2015.8.27(木)

参加者 門脇義昭、秋沢久男、藤田尚志、八木智秋(湘南工科大学)(鷺山 亨志)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	21	22	
サンプル量 cc	100	100	100	100	100	100	100	100	100	50	100	50	100	
滴定量 cc	3.67	2.78	2.28	1.92	2.39	2.02	1.97	1.49	2.25	2.40	0.90	4.03	2.27	
ブランク 滴定量cc	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.78	0.78	0.78	0.46	0.78	0.78	
補正滴 定量 cc	3.21	2.32	1.82	1.46	1.93	1.56	1.51	0.71	1.47	1.64	0.44	3.25	1.47	
COD	6.42	4.64	3.64	2.92	3.86	3.12	3.02	1.42	2.94	6.56	0.88	13.04	2.94	
PH	7.27	7.31	7.55	7.53	7.70	7.61	7.61	7.62	7.80	7.34	7.08	7.65	7.61	
導電率	21.7	28.3	39.6	32.4	40.0	35.0	34.4	32.3	35.2	39.0	34.6	47.1	33.0	
全N(窒素)				分光光度計の不調で分析できなかった										
全P(リン)				分光光度計の不調で分析できなかった										

●8月前半は猛暑の夏で、降水量が少なかったが半ば過ぎから気温が下がり、雨が多くなった。採水日(27日)の前日もかなりの雨が降った。

●当日は濁りも消え、水量もやや多い程度で採水に問題なかった。

●8月下旬は10月の気温の日もあり水温も全般に低目であった。

●CODは葛川源流で13.0、宮向橋で6.6と高めであったが、前日の大雨の影響で従来より低かった。一色水田で6.42とはかなり高かった。

●PHは前日の大雨の影響で洗い流され、PHは7.08~7.80で問題なかった。

●5日後に全窒素と全リンを測定するも分光光度計の不調で測定できなかった。



採水地点 0 (一色水田)



8月27日 平塚市 神奈川県環境科学センターにて  
八木君と秋沢様

U56



平成27年12月15日 葛川水系 水質測定記録 (全リン、全窒素、COD、pH、導電率)

葛川をきれいにする会  
地域の環境を良くする会

採取年月日 2015.12.15(土) 天候 曇り 参加者 大畑栄伸、藤田尚志

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	21	22	
採取時間	8:49	8:40	8:17	8:15	8:03	8:05	8:00	9:00	10:00	9:15	9:23	9:10	8:25	
水深 c m	16	-	20.5	18	10	21	24.5	-	-	-	-	6.5	23	
水温 ℃	11.6	12.0	13.2	13.0	13.8	13.0	13.0	13.0	13.2	10.2	14.9	13.0	13.0	水銀温度計
臭気														
その他														
水生生物														

◎ : 採取場所

- |                 |                |               |
|-----------------|----------------|---------------|
| 0 一色水田横         | 6 葛川・田代川合流後    | 12 田代川・源流     |
| 1 秋沢牧場横         | 7 葛川・田端橋上流     | 13 田代川・富士見が丘下 |
| 2 打越川・葛川への合流点手前 | 8 葛川・下浜橋上流     | 14 田代川・デニーズ横  |
| 3 葛川・打越川への合流点手前 | 9 葛川・プリンスゴルフ場横 | 21 葛川源流       |
| 4 田代川・葛川への合流点手前 | 10 葛川・宮向橋・中井町  | 22 葛川橋下流(西友横) |
| 5 葛川・田代川合流点手前   | 11 葛川・巖島・合流手前  |               |

測定年月日 2015.12.15(火)

参加者 大畑栄伸、藤田尚志

(笠山 亨志)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	21	22	
サンプル量 cc	100	100	100	100	100	100	100	100	100	50	100	50	100	
滴定量 cc	1.42	2.80	2.38	2.00	2.41	2.06	1.81	1.35	2.11	2.23	0.92	5.38	2.03	
ブランク滴定量 cc	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.41	0.41	0.50	0.50	0.50	0.50	
補正滴定量 cc	0.92	2.30	1.88	1.50	1.91	1.56	1.31	0.94	1.70	1.73	0.42	4.88	1.53	
COD	1.84	4.60	3.76	3.00	3.82	3.12	2.62	1.88	3.40	6.92	0.84	19.44	3.06	mg/L
PH	7.50	7.45	7.52	7.53	7.58	7.60	7.48	7.55	7.67	7.44	7.30	7.42	7.54	
導電率	17.7	28.5	42.1	35.2	40.5	37.3	38.2	35.7	38.3	42.1	37.2	50.7	35.2	ms/cm
全N(窒素)	2.29	4.14	3.53	5.78	2.70	4.96	4.81	7.31	4.80	8.39	8.30	13.14	5.98	mg/L
全P(リン)	0.49	0.66	0.61	0.57	0.62	0.53	0.53	0.45	0.52	0.56	0.55	1.40	0.58	mg/L

●前々日の大雨で、葛川は洗われた。前日も小雨だったが、当日は濁りがなく水量はやや多い程度であった。

●CODは葛川源流で19.44と高めであった。巖島湿性公園が0.84と一番低かった。

●pHは7.30~7.60の間で変化が少なく、大雨の影響が見られた。

●導電率は葛川源流で一番高く、次いで宮向橋、打越川、田代川が高かった。

●全窒素は葛川源流で一番高く、次いで宮向橋と巖島湿性公園が高かった。一色水田横と田代川は低かった。

●全リンは源流で高かった。他の地点の測定値は従来より高めであった。検量線が原点を通らなかったが、

測定値をそのまま計算式に入れて算出した。



調査地点 7 (田端橋上流) の地点



調査(採水)地点 21 (葛川の源流) の地点

平成28年3月1日 葛川水系 水質測定記録 (全リン、全窒素、COD、pH、導電率)  
葛川をきれいにする会  
地域の環境を良くする会

採取年月日 2016.3.1(火) 天候 晴れ 参加者 秋沢久男、門脇義昭、藤田尚志

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	21	22	
採取時間	9:01	8:51	8:26	8:24	8:14	8:16	8:09	8:13	10:13	9:37	9:45	9:27	8:37	
水深 c m	7	-	21	18	11	16	25	-	-	-	-	9	35	
水温 ℃	6.9	8.0	9.5	8.6	9.0	8.6	8.5	9.4	9.0	4.0	15.2	10.0	9.0	水銀温度計
臭気												わずか		
その他														
水生生物														

◎ : 採取場所

- |                 |                |               |
|-----------------|----------------|---------------|
| 0 一色水田横         | 6 葛川・田代川合流後    | 12 田代川・源流     |
| 1 秋沢牧場横         | 7 葛川・田代橋上流     | 13 田代川・富士見が丘下 |
| 2 打越川・葛川への合流点手前 | 8 葛川・下浜橋上流     | 14 田代川・デニーズ横  |
| 3 葛川・打越川への合流点手前 | 9 葛川・プリンスゴルフ場横 | 21 葛川源流       |
| 4 田代川・葛川への合流点手前 | 10 葛川・宮向橋・中井町  | 22 葛川橋下流(西友横) |
| 5 葛川・田代川合流点手前   | 11 葛川・飯島・合流手前  |               |

測定年月日 2016.3.1(火)

参加者 秋沢久男、門脇義昭、藤田尚志

(笠山 亨志)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	21	22	
サンプル量 cc	100	100	100	100	100	100	100	100	100	50	100	50	100	
滴定量 cc	1.30	3.27	2.53	2.21	2.77	2.20	2.31	1.89	2.63	2.77	1.44	5.05	2.45	
ブランク 滴定量cc	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	
補正 滴定量 cc	0.88	2.85	2.11	1.79	2.35	1.78	1.89	1.47	2.21	2.35	1.02	4.63	2.03	
COD	1.76	5.70	4.22	3.58	4.70	3.58	3.78	2.94	4.42	9.40	2.04	18.52	4.06	mg/L
PH	7.31	7.37	7.51	7.53	7.53	7.51	7.42	7.43	7.70	7.30	7.26	7.63	7.64	
導電率	21.2	30.3	41.3	34.0	42.4	36.9	36.6	35.0	35.8	41.7	36.7	47.1	34.6	ms/cm
全N(窒素)	1.76	4.25	3.34	2.86	4.30	4.34	6.46	4.29	6.43	7.25	9.91	5.28	5.27	mg/L
全P(リン)	0.03	0.27	0.20	0.22	0.31	0.22	0.23	0.11	0.24	0.65	0.07	1.00	0.24	mg/L

- 前日に雨が降り久しぶりに葛川は洗われた。当日は濁りがなく水量はやや多い程度であった。
- CODは葛川源流で18.52と高めであった。一色水田横が1.76と一番低かった。
- pHは7.30~7.70の間で変化が少なく、前日の雨の影響が見られた。
- 導電率は葛川源流が一番高く、宮向橋と田代川が高かった。打越川は久しぶりに高かった。
- 全窒素は飯島湿性公園が一番高く、次いで宮向橋が高かった。一色水田横は低かった。
- 全リンは源流が高かった。一色水田横と飯島湿性公園は低かった。



採水地点・11(飯島公園横)



平塚市 神奈川県環境科学センターにて  
秋沢氏、藤田氏



# 葛川等の水質検査

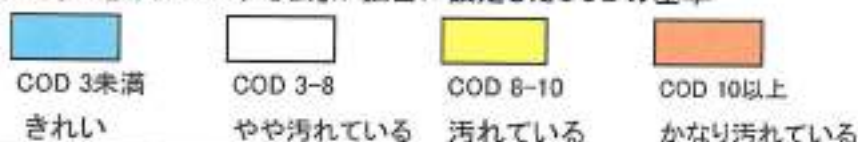
## COD(化学的酸素要求量)の測定結果

葛川をきれいにする会

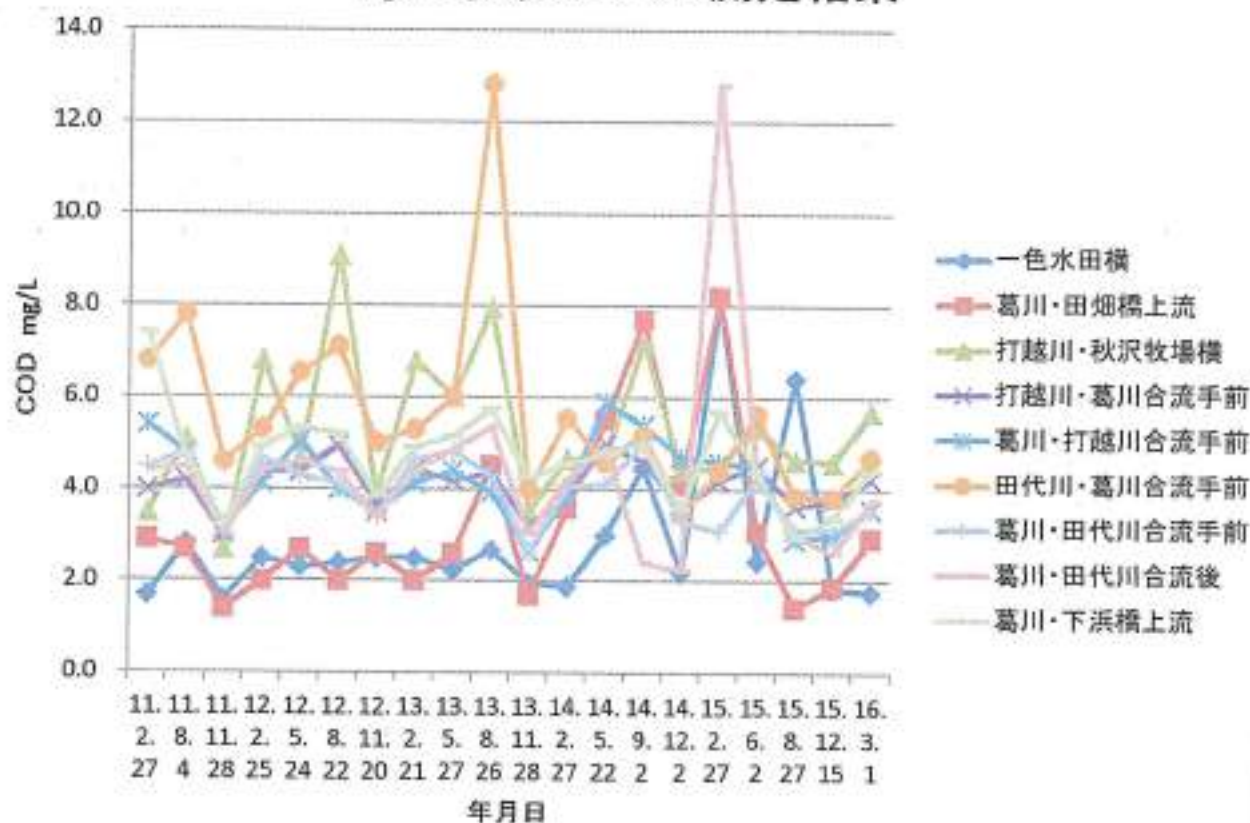
COD(化学的酸素要求量) mg/l

		11.2.27	11.8.4	11.11.28	12.2.25	12.5.24	12.8.22	12.11.20	13.2.21	13.5.27	13.8.26	13.11.28	14.2.27	14.5.22	14.9.2	14.12.2	15.2.27	15.6.2	15.8.27	15.12.15	16.3.1
上流域	一色水田横	1.7	2.8	1.6	2.5	2.3	2.4	2.5	2.5	2.2	2.7	2.0	1.9	3.0	4.5	2.2	8.1	2.4	6.4	1.8	1.8
	葛川・田畑橋上流	2.9	2.7	1.4	2.0	2.7	2.0	2.6	2.0	2.6	4.5	1.7	3.6	5.5	7.7	4.1	8.2	3.1	1.4	1.9	2.9
	打越川・秋沢牧場横	3.5	5.1	2.7	6.8	4.7	9.1	3.9	6.8	6.0	8.0	3.5	4.7	4.7	7.2	4.4	4.5	5.4	4.6	4.6	5.7
中流域	打越川・葛川合流手前	4.0	4.2	3.0	4.4	4.4	4.9	3.7	4.4	4.2	4.4	3.2	3.9	5.0	4.6	3.6	4.2	4.5	3.6	3.8	4.2
	葛川・打越川合流手前	5.4	4.8	3.1	4.1	5.1	4.0	3.5	4.1	4.4	3.9	2.6	3.9	5.9	5.4	4.7	4.6	4.5	2.9	3.0	3.6
	田代川・葛川合流手前	6.8	7.8	4.6	5.3	6.5	7.1	5.0	5.3	6.0	12.8	4.0	5.5	4.6	5.2	3.5	4.4	5.6	3.9	3.8	4.7
	葛川・田代川合流手前	4.5	4.8	3.2	4.7	4.3	4.1	3.4	4.7	4.8	4.3	2.7	4.1	4.1	5.0	3.3	3.1	4.3	3.1	3.1	3.6
	葛川・田代川合流後	4.4	4.5	3.0	4.4	4.6	4.4	3.4	4.4	4.9	5.4	3.0	4.2	4.9	2.4	2.2	12.8	4.4	3.0	2.6	3.8
下流	葛川・下浜橋上流	7.4	4.7	3.2	4.9	5.3	5.2	3.8	4.9	5.2	5.8	4.3	4.6	4.8	5.0	3.6	5.7	4.4	2.9	3.4	4.4

BODの対応等から「葛川をきれいにする会」が独自に設定したCODの基準



## 葛川水系のCOD測定結果



USB



葛川等の水質検査 (業者委託による二宮町調べ) (平成27年まで)

BOD (生物化学的酸素要求量) の測定結果

(mg/L)

NO	地点	平成14年度				平成15年度				平成16年度				平成17年度				平成18年度				平成19年度				平成20年度				
		6月8日	9月26日	1月17日	3月16日	6月10日	9月9日	1月8日	3月5日	5月28日	8月7日	1月18日	2月14日	5月11日	8月9日	1月14日	2月3日	5月6日	8月1日	1月6日	2月5日	5月4日	8月0日	1月5日	2月4日	5月19日	8月19日	1月10日	2月9日	
1	上北根橋(田端橋より変更)					2	1	3	3	3	3	1	2	4	2	2	2	3	1	2	1	1	2	1	1	3	1	2	1	2
2	葛川橋	6	6	10	7	15	5	3	8	7	7	3	6	6	6	5	12	4	8	3	6	7	6	3	7	8	14	6	5	
3	新原田橋	6	7	16	10	17	7	5	8	7	7	4	13	8	5	6	8	2	7	4	6	11	7	3	6	6	7	3	3	
4	下浜橋	7	7	10	8	11	5	4	14	7	5	4	7	5	5	6	5	3	6	2	6	12	3	4	6	7	5	2	3	
5	一色橋(なぎさ橋より変更)					3	5	3	8	5	3	3	5	4	3	3	4	3	5	4	4	8	2	4	6	5	3	3	2	
6	下中島橋													5	9	3	10	3	5	3	6	6	3	3	6	3	2	1	2	
7	中村川・押切橋	5	2	4	2	3	3	2	3	3	2	3	4	3	2	2	3	2	4	1	3	3	1	3	6	3	2	2	3	
8	梅沢川・美浜橋	3	12	7	16	5	8	6	7	13	9	6	16	13	9	7	28	7	12	7	18	11	6	4	6	8	8	3	6	

NO	地点	平成21年度				平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
		5月27日	8月17日	1月9日	2月8日	5月8日	8月12日	1月7日	2月5日	5月3日	8月8日	1月7日	2月6日	5月0日	8月7日	11月8日	2月7日	5月6日	8月2日	1月2日	2月7日	5月9日	8月8日	1月21日	5月22日	8月24日	11月13日		
1	上北根橋(田端橋より変更)	2	1	1	1	2	1	2	3	1	1	1	1	0.7	0.7	0.8	1.0	0.8	2.6	4.9	3.5	0.9	0.7	1.2	2.2	1.0	1.0	1.1	
2	葛川橋	7	3	4	8	8	9	3	1	4	2	2	2	1.9	2.2	1.1	2.0	2.2	3.0	3.3	1.9	3.8	2.4	2.1	3.0	2.1	1.6	2.4	
3	新原田橋	5	2	3	3	5	3	3	6	3	1	2	2	2.8	1.6	1.1	1.5	3.3	2.2	4.8	4.5	0.6	1.3	1.9	3.8	2.4	2.0	1.3	
4	下浜橋	3	3	3	3	2	2	2	6	2	1	1	2	3.3	2.8	1.9	1.9	3.0	3.7	3.8	3.7	2.7	1.3	1.8	2.4	1.4	1.4	2.1	
5	一色橋(なぎさ橋より変更)	3	1	1	10	3	2	1	5	1	2	3	2	4.4	2.4	1.7	1.4	3.2	4.2	4.4	4.8	1.3	1.3	1.0	3.2	1.6	3.0	2.1	
6	下中島橋	2	1	1	1	4	2	2	2	1	1	1	1	0.9	1.1	1.0	1.5	1.8	3.9	2.9	4.3	0.9	1.3	1.1	1.3	1.8	1.3	1.3	
7	中村川・押切橋	2	1	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1	2.7	1.1	1.5	1.5	1.5	2.0	1.8	3.0	0.7	0.8	1.3	1.7	1.2	1.4	1.3	
8	梅沢川・美浜橋	8	2	11	11	19	3	9	7	5	2	3	6	11	4.8	5.0	6.5	11	5.2	7.7	11	5.1	5.7	3.4	3.7	6.7	3.0	5.4	

生活環境の保全に関する環境基準 神奈川県

環境基準BOD	利用目的の適応性 生息する魚 等
A 2mg/L以下	沈殿ろ過等通常の浄水操作で水道用。ヤマメ、イワナ等、水浴
B 3mg/L以下	高度の浄水操作で水道用、サケ科、アユ等生息
C 5mg/L以下	コイ、フナ等生息
D 10mg/L以下	農業用水
E 10mg/L以上	日常生活上不快感を感じる

BOD生活環境の保全に関する環境基準

川の水の有機物による汚れ具合をあらわすもので、水の中の有機物によって分解されるときに使われる酸素の量をいい、数字が大きいほど汚れが大きいことを示します

## 社会貢献活動『葛川クリーンアップ』についての感想

13A6109 八木 智秋

大学生活にも大分慣れ少し余裕ができ始めたので、何か校外活動をしたいと思った。小さいころ良く川や海に遊びに行っていたので野外系の活動を探していたところ、川の掃除のお手伝いができる活動を目にし応募した。何人か当活動に応募していたが最後まで残っていたのは自分だけになっており抽選も無く無事に参加することができた。この『葛川クリーンアップ』活動というのは、二宮町の駅付近にある『葛川』に捨てられた、流れてきたゴミを拾い川をきれいにする活動であり自分に向いている活動内容だと感じた。しかし、こういった活動をするのは初めてで活動先の方たちとうまくやっていけるだろうかという不安ばかりだった。

初めての活動日、あいにくの雨で延期になり翌日へ延期になったがその日はいけないことができず、せっかく皆さんの顔合わせのために時間を設けてくれたのに出席できなかった。気を取り直し、次の活動にはちゃんと出席し活動メンバーとも自己紹介を済ませ、さっそく川の清掃活動を行った。活動メンバーの皆さんはとても優しく話しやすい方たちばかりでとても安心した。橋から見た時と実際川に入ったときの景色は全く違く、自分が想像していたよりもずっとゴミはたくさんあった。ゴミでいっぱいになったビニール袋が10袋以上出る時がほとんどでこういった川掃除を定期的にしていなかったらこの川はどうなってしまうのだろうと恐ろしさを感じた。だからこそこういった定期的な清掃活動は必要なんだと痛感した。ゴミ拾いをしていると時間を忘れてしまうくらい集中してしまい気づいたら活動終了間際になったりしてたことが多々あった。

自らこの活動に参加したのにも関わらず活動日に出れない日が多々あり、活動時間が足りずこうして作文を出さなければならない状況になってしまいクリーンアップ活動の方たち、門脇さんにも申し訳ありません。活動メンバーの方達から野菜や栗などもいただいたりし、私含め家族全員が感謝しております。

こうして体験、経験できたのも皆さんのおかげです、この貴重な経験を忘れず自分の今後の生きていく過程で生かしていきたいです。

湘南工科大学八木君（三浦郡葉山町から参加）の感想文です。原文のまま



葛川の清掃作業写真



平成27年4月4日、前田橋上流・桜開花



平成27年5月2日、軒吉橋下で



平成27年6月7日小学生が清掃に参加



平成27年6月20日内輪橋下流にて



平成27年7月18日こゆるぎ橋でゴミ引上げ

N01



4月4日 集めたごみ・前田橋横



5月2日ゴミ分別作業、軒吉橋新幹線下



6月7日大応寺橋でゴミの引揚げ



平成27年7月4日新田橋下流にて



平成27年9月6日下浜橋上流にて

葛川をきれいにする会



4月18日新西谷戸橋上流ゴミの引揚げ



5月17日貝が窪橋脚のゴミの引揚げ



平成27年6月20日清掃参加者、新田橋にて



平成27年7月16日巡海橋下にて



9月5日、ごみ置き場変更下浜橋上流右岸



## 葛川の清掃作業写真



平成27年9月19日下浜橋下流



10月3日ゴミの区分け・清水橋横



平成27年11月7日・萬年橋上流の清掃



平成27年11月21日 大心寺橋上流清掃



平成28年3月5日・意田橋でゴミの引揚げ

## N02



9月19日大磯町境は大水で川底決られていた



平成27年10月18日葛川橋下にて



11月7日・萬年橋横でゴミの区分け



11月21日・集めたゴミ集積所. 花月橋横



平成28年3月21日・新田橋下流で

## 葛川をきれいにする会



平成27年10月3日清水橋上流の清掃



10月16日集めたゴミ. 葛川橋横



11月7日・集めたゴミ集積所. 萬年橋横



平成28年3月5日清掃参加者・新田橋にて



3月21日ゴミ集積所. 新田橋横  
3月19日20日と降雨, 今日になった  
傘が20本もあった。 USB

## 葛川をきれいにする会 会則

- 第1条 この会は、葛川をきれいにする会（以下「会」）という。
- 第2条 会は、主として葛川流域の環境の保全を計り、二宮町およびその周辺地域の良好な生活環境の維持・推進に寄与することを目的とする。
- 第3条 連絡事務所は代表宅に置く。
- 第4条 会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。
- (1) 葛川（その支流を含む。以下同じ）清掃・美化、水質改善、水生生物調査、水質調査等
  - (2) 葛川の環境保全に関する学習および環境保全意識の普及
  - (3) その他会の目的を達成するために必要な活動
- 第5条 会員は正会員・学生会員・賛助会員とし  
会費は年会費・正会員2,000円 賛助会員一口1,000円以上 学生会員は無料とする。
- 第6条 役員は 代表・副代表・事務長・会計担当・専門担当若干名 兼任は可能。  
会計監査は2名とする。任期は2年 再任は可能。
- 第7条 活動年度及び会計年度は毎年4月1日より翌年3月末日まで。  
総会は毎年4月第二土曜日に開催。  
定例会は6月・9月・12月・翌年3月第二週に開催（諸案件を検討）  
総会・定例会の議事進行は事務長が行い（代行も可）議決は正会員の過半数で成立
- 第8条 (1) 清掃作業は、原則として3月から11月までの第一及び第三土曜日の9時30分からとする。  
(2) 雨天、等の事情で作業を中止することがある。午前8時の気象状況等による。降雨確率70%以上は中止。  
翌日（日曜日好天で増水してないときは清掃作業を行なう）  
(3) 事務長（代行可）は、活動記録を二部作成し、二宮町環境課と神奈川県平塚土木事務所に提出する。
- 第9条 活動を中止（退会等）する時は役員に連絡する。
- 第10条 会則変更は定例会（又は役員会で）検討して総会で承認を得る。

葛川をきれいにする会のホームページは

<http://www.scn-net.ne.jp/~kuzukawa>



# 「葛川をきれいにする会」会員名簿

平成28年3月1日現在 順不同・敬称略

正会員氏名	役職	学生会員	賛助会員
秋沢 久男		八木 智秋	石井 修
市川 昌子			井手内 清
遠藤 恒夫			金子 君子
門脇 義昭	代表		川上 清
川野 泰明			佐藤 準
小林 弘	前代表		塩見 勇
佐藤 久大			田中 克己
添田 栄			鞆原兼工務店
竹原 繁男			松岡 史子
飛澤 洋子			
鳥居 仁			
名川 博久			
奈良 淑子			
野谷 悦	事務長		
西園 治雄			
長谷川芳男			
政金 聡			
藤田 尚志	水質検査		
細川 三男	会計		
峯尾 正昭	会計監査		
門間 光次			
横山喜代志			
小計	22名	1名	9名

## 関係先

2016年3月31日現在:(順不同・敬称略)

役所・企業名	住所・電話・Fax等	備考
二宮町役場 企画政策課,企画調整班 都市部生活環境課生活環境班	〒253-0196 中郡二宮町二宮 961 電話 0463-71-3311 Fax73-0134 〒259-0131二宮町中里 207-1 桜美園内 ☎0463-72-3738 Fax0463-73-1330 E-mail kankyo@town.ninoniya.kanagawa.jp	(山口班長)
神奈川県平塚土木事務所 河川砂防部河川砂防第一課	〒254-0073 平塚市西八幡 1-3-1.合同庁舎内 電話 0463-22-2711・内戦 4203 Fax 0463-24-0488 (柳下→曾我→山崎→藤井)	
神奈川県湘南地域 県政総合センター	〒254-0073 平塚市西八幡 1-3-1.合同庁舎内 電話 0463-22-2711・ Fax.0463-23-0599	
神奈川県環境科学 センター	〒254-0014 平塚市四之宮 1-3-39 電話 0463-24-3311 Fax 24-3300 Eメール:k-center@erc.pref.kanagawa.jp	
湘南工科大学 社会貢献活動連絡協議会 主査 水谷 光	〒251-8511 藤沢市辻堂西海岸 1-1-25 電話ダイヤルイン 0466-30- 事務 0272 教務 0274 学生 0278 shakou@center.shonan-it.ac.jp	二見助教 東尾淳子
朝日新聞社・平塚支局	〒254-0815 平塚市桃浜町 13-1 電話 0463-35-3246 Fax 35-3285	
神奈川新聞社	〒231-8445 横浜市中区太田町 2-23 電話 045-227-0001 Fax045-227-0015	
財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団	〒231-8445 横浜市中区太田町 2-23 電話 045-222-0615 Fax045-222-0615	
神奈川新聞社・茅ヶ崎	〒253-0052 茅ヶ崎市幸町 20-43-503 電話 0467-87-1612 Fax0467-87-1522	
ASA 二宮	〒259-0131 中郡二宮町中里 988-6 電話 0463-71-1157 Fax0463-71-7488	
特タウンニュース社,平塚支社	〒254-0052 平塚市平塚 5-22-15-3F 電話 0463-33-5300 Fax0463-30-1260 E-Mail:tn-toyoda@townnews.co.jp	
マックスバリュウ東海特 二宮店 マックスバリュウ東海特	〒259-0134 中郡二宮町一色 1207-1 電話 0463-71-8818 Fax0463-71-8812 〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長蓮 303-1 環境社会貢献部 電話 055-999-2128	
にのみや町民活動 サポートセンター	〒259-0123 中郡二宮町二宮 879-11 電話 0463-70-6255	
神田交通特	〒254-0082 平塚市東豊田 531-37 電話 0463-55-1313 Fax 0463-55-5500	前島謙一郎

FB③



## 平成 28 年度清掃、総会、定例会スケジュール

年 月 日	清 掃 区 間	集 合 場 所 (9 時 30 分 清 掃 開 始)
28 年 4 月 2 日	田端橋～前田橋間	前田橋 一色インターチェンジそば
〃 4 月 16 日	前田橋間～新西谷戸橋間	新西谷戸橋 コンビニ前
〃 5 月 7 日	小田厚道下～軒吉橋間	軒吉橋 新幹線際 歩行者専用橋横
〃 5 月 21 日	軒吉橋～万年橋間	万年橋 旧道・魚屋前
〃 6 月 4 日	万年橋～花月橋間	花月橋 旧道・知足寺入り口
〃 6 月 18 日	花月橋～新田橋間	新田橋 正栄堂和菓子店前
〃 7 月 2 日	新田橋～鍛冶屋橋間	新田橋 正栄堂和菓子店前 注
〃 7 月 16 日	鍛冶屋橋～塩見橋間	塩見橋 国道1号線上の大橋
〃 9 月 3 日	塩海橋～下浜橋間	下浜橋 二宮中学校下・公園横
〃 9 月 17 日	下浜橋～町境	下浜橋 二宮中学校下・公園横
〃 10 月 1 日	新西谷戸橋～清水橋間	清水橋・百合が丘入口・ガソリンスタンド横
〃 10 月 15 日	清水橋～葛川橋間	清水橋 西友横
〃 11 月 5 日	葛川橋～万年橋間	万年橋 旧道・魚屋前
〃 11 月 19 日	万年橋～花月橋間	花月橋 旧道・知足寺入り口
29 年 3 月 4 日	花月橋～新田橋間	新田橋 正栄堂和菓子店前
〃 3 月 18 日	新田橋～鍛冶屋橋間	新田橋 正栄堂和菓子店前 注

8 月・12 月・1 月・2 月は休みです。 雨天・荒天は中止・\* 予備・延期はその都度検討  
 当日 8 時 天気予報降雨 70% の以上の時中止  
 清掃用具(網長・手袋・その他)は事務局で準備し貸与します。  
 作業後のお茶は事務局で準備致します。  
 注一 川への階段がこの区間は有りません・新田橋集合になります  
 塩海橋は階段がありません・梯子を準備致します。

### 総会・定例会の予定

年・月・日・時間	内容	場所
平成 28 年 4 月 9 日 9 時 30 分～11 時	定期総会	二宮町町民センター
平成 28 年 6 月 11 日 9 時 30 分～12 時	定例会	二宮町サポートセンター・予定
平成 28 年 9 月 10 日 9 時 30 分～12 時	定例会	二宮町サポートセンター・予定
平成 28 年 12 月 10 日 9 時 30 分～12 時	定例会	二宮町サポートセンター・予定
平成 29 年 3 月 11 日 9 時 30 分～12 時	定例会	二宮町サポートセンター・予定

- ◎ 網長に不具合がありましたら事務局までお知らせ下さい、対応致します。
- ◎ 葛川の水質調査は年 4 回を予定しています(6・9・12・3 月・実施日未定)
- ◎ 清掃の集合場所は現地・9 時 25 分です。作業時間は 2 時間前後です

活動内容はホームページをご覧ください <http://www.scn-net.ne.jp/~kuzukawa> です



# 葛川（二宮町内）にかかる、名前の付いた橋







地図より約2キロメートル上流に蔽島湿生公園(葛川の源流)  
蔽島神社

## 二宮町を流れる葛川の歴史

### 目次

- |  |     |
|--|-----|
| 1 葛川環境の歴史                                | 葛1  |
| 2 葛川のはなし                                 | 葛2  |
| 3 吾妻山と蔽島神社 その一                           | 葛3  |
| 吾妻山と蔽島神社 その二                             | 葛4  |
| 4 万年堰と灌漑水路景観図                            | 葛5  |
| 5 万年堰について                                | 葛6  |
| 上記参考「地図」                                 | 葛7  |
| 6 大正5年頃の堂面堰景観図                           | 葛8  |
| 7 大正時代(大正5年 1916年)の堂面堰の<br>堂面堰の自然プールについて | 葛9  |
| 8 原田堰と原田用水                               | 葛10 |
| 9 二宮町田畑用水路(1815年頃)                       | 葛11 |
| 10 葛川の慣行水利権の現状調べ                         | 葛12 |
| 12 よみがえれ葛川の清流<br>(1978年朝日新聞記事より)         | 葛13 |
| 13 コイが住める清流に<br>(1978年朝日新聞記事より)          | 葛14 |

会員の野谷悦様が整理編集



葛川橋  
BODの  
変化

万年堰

堂面堰

新田  
万年用水によって  
新田ができた

原田堰

吾妻山神社  
祭神は「弟橘姫」(おとたち  
ばなのひめ)  
ご神体は「櫛」

原田堰からの用水によって  
川久保地区に水田が開か  
れた

袖ヶ浦海岸  
弟橘姫(おとたちばなのひめ)の着物が流れついたら



# 1 葛川環境の歴史

年	出来事	資料	二宮の人口 ( )は下水道普及率	葛川橋 BOD 「このふやの環境」(二宮町長談話より)
200	神話	巖島神社の話	吾妻神社と巖島神社	
1650頃	江戸時代	萬年堤用水路	萬年用水と灌漑用水路景観図	
1701年頃以前		原田堰からの用水路	萬年堰について	
1898	明治31年			5,000
1916	大正5年	花月橋で水泳	室面鏡の自然プールについて 図	7,000
1945	昭和20年			12,579
1955	昭和30年			13,156
昭和38年	百合が丘団地入居			
1965	昭和40年	一色小学校開校		15,246
1970	昭和50年			21,640
1976	昭和51年			7
1977	昭和52年	山西小学校開校		9
1978	昭和53年	鯉の放流9/8	「よみがえれ 葛川の清流」 朝日新聞	7
1979	昭和54年			4
1980	昭和55年			4
1981	昭和56年			7.3
1982	昭和57年			5.8
1983	昭和58年			6.3
1984	昭和59年			7.8
1985	昭和60年	「中里・萬年橋付近の水質は汚い」 町広報		28,936
1986	昭和61年			9.8
1987	昭和62年			10.2
1988	昭和63年			10.3
1989	平成元年			7.8
1990	平成2年			8
1991	平成3年			6.3
1992	平成4年			6.5
1993	平成5年			8.3
1994	平成6年			9.2
1995	平成7年			11.8
1996	平成8年			10.8
1997	平成9年			11.3
1998	平成10年			10.3
1999/4/1	平成11年	公共下水道供用開始		7.3
2000	平成12年			(約10%) 15.8
2001/10/10	平成13年	葛川をきれいにする会発足		30,802 12.8
2002/8/12	平成14年	葛川サミット		(約20%) 10
2003/4/1	平成15年	巖島湿生公園オープン		7
2004	平成16年			(約20%) 7.8
2005	平成17年			6
2006	平成18年			7.3
2007	平成19年			5.3
2008	平成20年			(約60%) 5.8
2009	平成21年			8.3
2010	平成22年			(約80%弱) 5
2011	平成23年			5
2012	平成24年			29,524 (約80%強) 3
2013	平成25年			1.9
2014	平成26年			2.6
				2.9

**BOD** 環境基準 神奈川県  
 きれいな 2mg/L以下 通常の浄水操作で水道用 ヤマメ、イワナ水浴  
 ややきれいな 2mg~5mg/L  
 やや汚れている 5~10mg/L 農業用水  
 汚れている 10mg/L以上 日常生活上 不快を感じない限度

データなし グラフから読み取る

葛川の汚染は昭和50年代後半から平成13年くらいがピーク。人口が20,000人前後と人口が増えてきた頃。その後水質は改善に向かっている。

その原因は① 公共下水道普及率の向上、② 巖島湿生公園の整備、③ 葛川サミットや葛川をきれいにする会をはじめとする市民意識の向上。

これからどうする  
 ① 子どもや大人が遊べる川に ② 大橋  
 ③ 親水公園 (下川遊歩道下-新田橋)  
 ④ 遊歩道(葛川橋上 内輪橋~新田橋)  
 ⑤ 魚道(なぞり堤見橋 軒古橋 葛川橋上 清水橋上 新田橋上)

## 2 葛川のはなし

葛川の流れをたどってさかのぼると北久保の弁天さんがあります。この社の周囲一帯は湿地帯で、中井町の水郷と呼ばれ、自然保護区域に指定されています。

ここが葛川の水源地で社の後ろから清冽な清水がこんこんと流れ出ています。その昔、米倉寺の柱に巻かれている左甚五郎作といわ作る木彫の竜が、夜な夜なここへ水を飲みに来たというお話が残っています。

この水が流れて北久保から県道の目がね橋の下をくぐり、井ノロから五分二を経て一色中里二宮を貫流し、途中打越川、田代川など小さな支流を併せて国鉄東海道線鉄橋下から東へ向い大磯町中丸で海へそそいでいます。

この川は上流から井ノロ川、葛川、塩海川、宇田川などと呼ばれ、流域住民に大きな恵みをもたらして来ました。

その第一は水田の灌漑です。五分一堰、北根堰、向根堰、下谷堰、谷部田堰、新田堰、万年堰など、川に堰を作りそこから水を引いて、一色中里二宮の水田を潤し、米の生産に寄与して来ました。

水量は決して豊富とはいえませんので、<sup>りやう</sup>旱の年には深刻な水争いもありました。その状況を二宮の古老は次のように話をしていました。「裏の田圃に夜な夜な人魂が出るという噂がさかんに言いはやされていました。私はその正体を確かめてやろうとある夜木刀をもって、田圃の土手に身を隠して、じっと待っていると、遠くから提灯のようなものがだんだん近づいて来ました。私の心臓は早鐘のように響きました。木刀を握りしめて息を殺して様子を窺っていると、何とそれは百姓が水田に水を引きにきたのでした。」と。こんな風にして人の寝静まった深夜、お互いに人目を忍んで我田に水を引いたものでした。

またこの水で水車をまわし、米や麦をついたり、粉々ひいたりして重要な役割を果たして来ました。水車は、井ノロに二軒、一色に七軒（北・菊えんさん・とんだや・留吉さん・勘兵衛さん・鹿さん・たびや）、中里に四軒（金目・五島など）、二宮に四軒（池田・松木・市川・小林）もありました。また大磯方面からも利用する人が沢山あったそうです。その他洗濯や野菜などの洗い物に利用されて日常の生活に密接な関係がありました。

現在の葛川は昭和31年以後、県の土木課の手で河川工事が行われ、川幅も拡張され流水もよくなりましたが、それ以前は大変屈曲が多く、ちょっと大きな雨が降ると必ず妙見・堂面・内輪一帯に浸水し、特に昭和10年の水害は一色から元町まで、家屋の流失6戸、半壊4戸、床上浸水130戸、床下浸水155戸、水田8町3反歩、道路欠損39ヶ所、橋梁流失17、堤防決壊61ヶ所もあって被害は甚大でした。

しかしその当時は水がきれいでいろいろな川魚が沢山いました。流域の子どもにとって、水泳、魚獲りなど格好の遊び場でもありました。

或る年には鰻の幼魚の大群が、川が真黒に見えるほど群をなしてさかのぼるのを見た人もあります。又終戦後のある年、エビガエが大繁殖し、水田の畔をこわして農民がひどい被害を受けたことがありました。

現在の葛川流域は殆んど住宅地となり。一時川はひどくよごれていましたが、最近葛川を魚の棲める川にしようという運動が起り、大分きれいになって来ました。

「二宮のむかしばなし」二宮町教育委員会 昭和56年(1981年)3月 より



### 3 吾妻山と巖島神社

(海と川のつながり)

二宮の真ん中に吾妻山があります。

皆さんは、どうして「吾妻」という名前がついたのか、考えたことがありますか？  
それにはこういう言い伝えがあるのです。

昔、昔のことです。

ミコト(第十二代景行天皇第二皇子 日本武尊 3世紀頃)は、東の地方を従えようと軍を進めていた。  
ある時、ミコトたちは二宮の海の神合を船で渡っていた。

ところが、途中で暴風雨にあってしまった。大波が船を襲い、船は進まず、船が沈みそうになった。  
そのとき妻のヒメ「第橘姫」はミコトに向かって言った。「これは、きっと海の神のたたりでしょう。  
妻のわたしがあなたの身代わりになって海に入り、海の神のたたりを沈めましょう。あなたは生き残り、東国の悪者どもをやっつけてください。」

ミコトは必至で姫を止めた。

「いいえ、この神の怒りは鎮められません。お許してください。ミコトのお役に立つならば、本望でございます」

そしてヒメは次のような歌を口づさんだ。

「相模の国の燃える日の中でも 私を思っ下さった情け深いあなたを、どうして忘れることができるでしょう。」これは今まで過ごした日々の喜びや楽しさを与えてくれたミコトに感謝する心をこめた歌だった。

そして、姫は海に飛び込んで行った。

「ヒメ、わが妻よ」とミコトは声の限りに叫んだ。

しかし、荒れ狂う波はたちまちにして、ヒメを飲み込んだ。

すると今まで荒れ狂っていた海はしずまり、ミコトたちは向こう岸につくことができた。

しばらくして、ミコトはヒメの衣が流れついたという海岸を訪れた。

そして、地元の漁師が曳き揚げたという櫛を見た。

手に取ってみると、貝をはめ込んだ飾りのある「くし」だった。それは日ごろ見慣れたヒメの髪にさされていた櫛であった。

ミコトはその櫛を、近くにある小高い山にお墓をつくり埋めた。

そのことから、小高い山を「わがつま山」…「吾妻山」と呼ぶようになった。そして、衣の流れ着いた海岸を「袖が浦」と呼ぶようになった。(吾妻神社の祭神は「第橘姫」ご神体は「櫛」)

ミコトには話されなかったが、実は地元の漁師が「くし」を曳き揚げようとしたとき、もうひとつのものがあつたのだ。しかし、漁師はもう一つのを曳き上げることができなかった。

しばらくして、漁師は夢を見た。

神が出てきて

「いぜん、お前が網でひき上げようとしたのは『鏡』だ。いまは葛川上流の『泉のわき出る神社』に安置されている。貴重なものなので、大事にしてください。」と言った。

そこで、漁師は仲間を集めて、葛川のまわりをくわしく探した。そして、中井の湿生公園の所にある「巖島神社」にあることがわかった。

それから漁師たちは、お金などを「巖島神社」に寄付したりした。するとそれから毎日のようにたくさん魚がとれるようになった。

漁師は考えた。「巖島神社は海の神だから、この豊漁は、この神様のお恵みにちがいない。」

それから、二宮の漁師は、海でとれた新鮮な魚を神社にそなえるようになった。

(二宮漁師の美濃島さんによれば現在は行われていない。)

この話にもあるように昔から海の漁師たちは、森林と魚たちの間に「どうも関係があるらしい」ということに気づいていました。

「森林が海の魚を養う」ということをあなたは知っていますか？ 森林が荒れると魚がとれなくなり、逆に木を植えたりして森林が育つと、魚がとれだすのです。

だから、二宮の漁師は葛川の最上流、巖島神社を大切にしているのです。

川と海はつながっています。海の魚を養う栄養は川で運ばれます。海岸の砂は川がつくりまします。一方、海岸のごみの70～80%は川から流れ出たものです。

ですから、川について学ぶということは 海について学ぶことにもつながります。

葛川について学ぶことは、二宮の海を、そして環境を学ぶことにつながります。

そういう広がりを持ちながら、自然と人間のかかわりを考えていってほしいです。

#### 参考文献

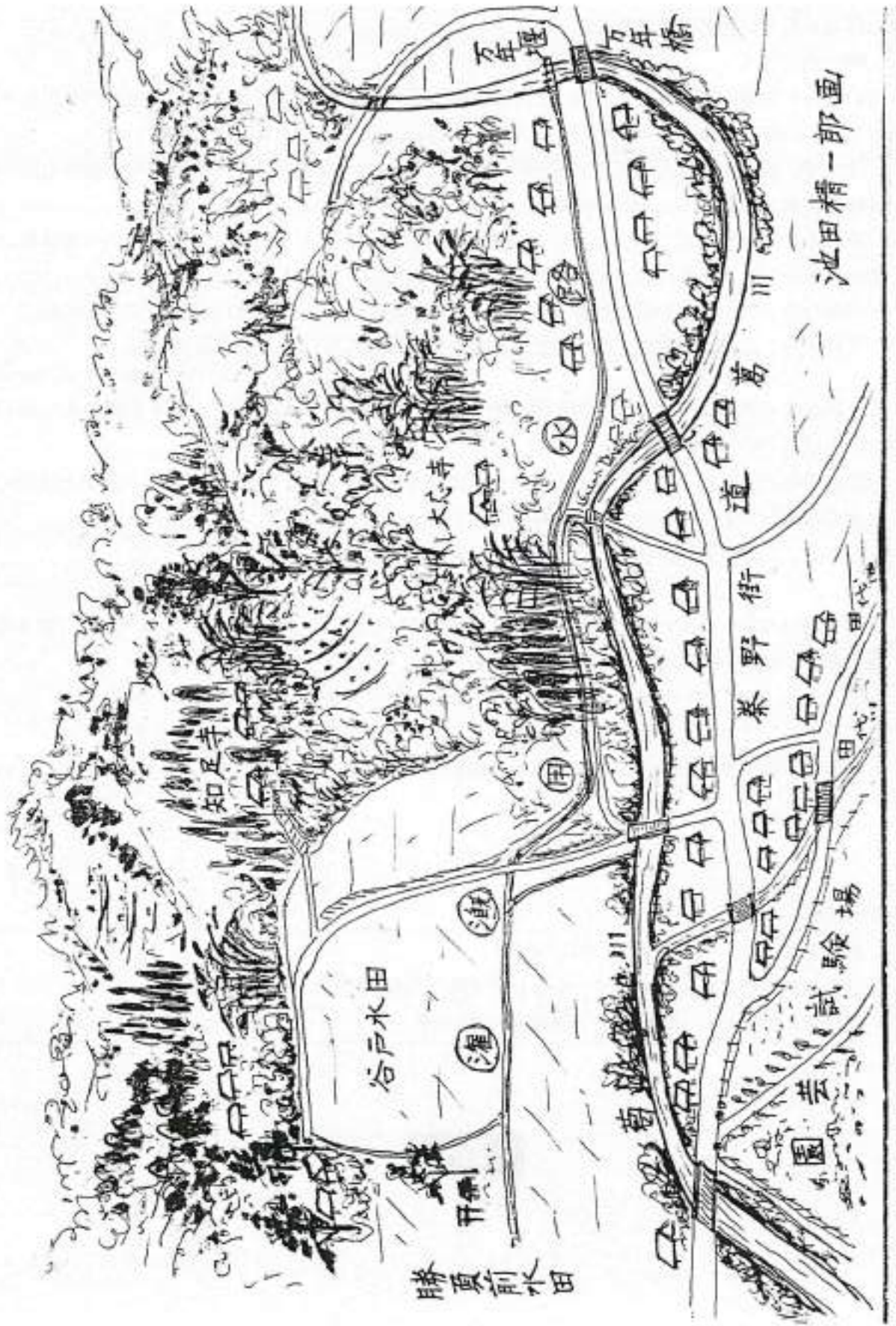
「巖島神社と鏡」中井の昔話 (年 不明)

「吾妻山純情」二宮高校アニメーション研究部 川崎 美雪 (年 不明)

「海は生きている」 富山和子 講談社 2009年



萬年堰と灌漑用水路景觀図



## 5 万年堀について

### 水田を開く

代官、万年七郎右衛門高頼は人びとの生活をゆたかにするために努力した人でした。農民たちと協力して水田開発に力を入れました。

高頼は現在の中里にある万年橋のすぐ上流にせきをつくり、くず川の水をせきとめました。そうすることにより水かさをあげ、水が「勝負の前」に流れるようにしたのです。

こうして①谷津 ②内輪、③勝負の前、④新田（次のページ参照）の順に田が開かれました。

「万年ばり」・「万年せき」の呼び名は、それらをつくった万年七郎右衛門にちなんでつけられたものです。また、「新田」の名も新しく開かれた田ということでつけられました。※せき…水をせきとめるために川の中につくったしきり

### 水田が開かれてから

「万年ばり」・「万年せき」のおかげで多くの水田を開くことができ、お米もたくさんとれるようになりました。そして、人びとのくらしもゆたかになりました。

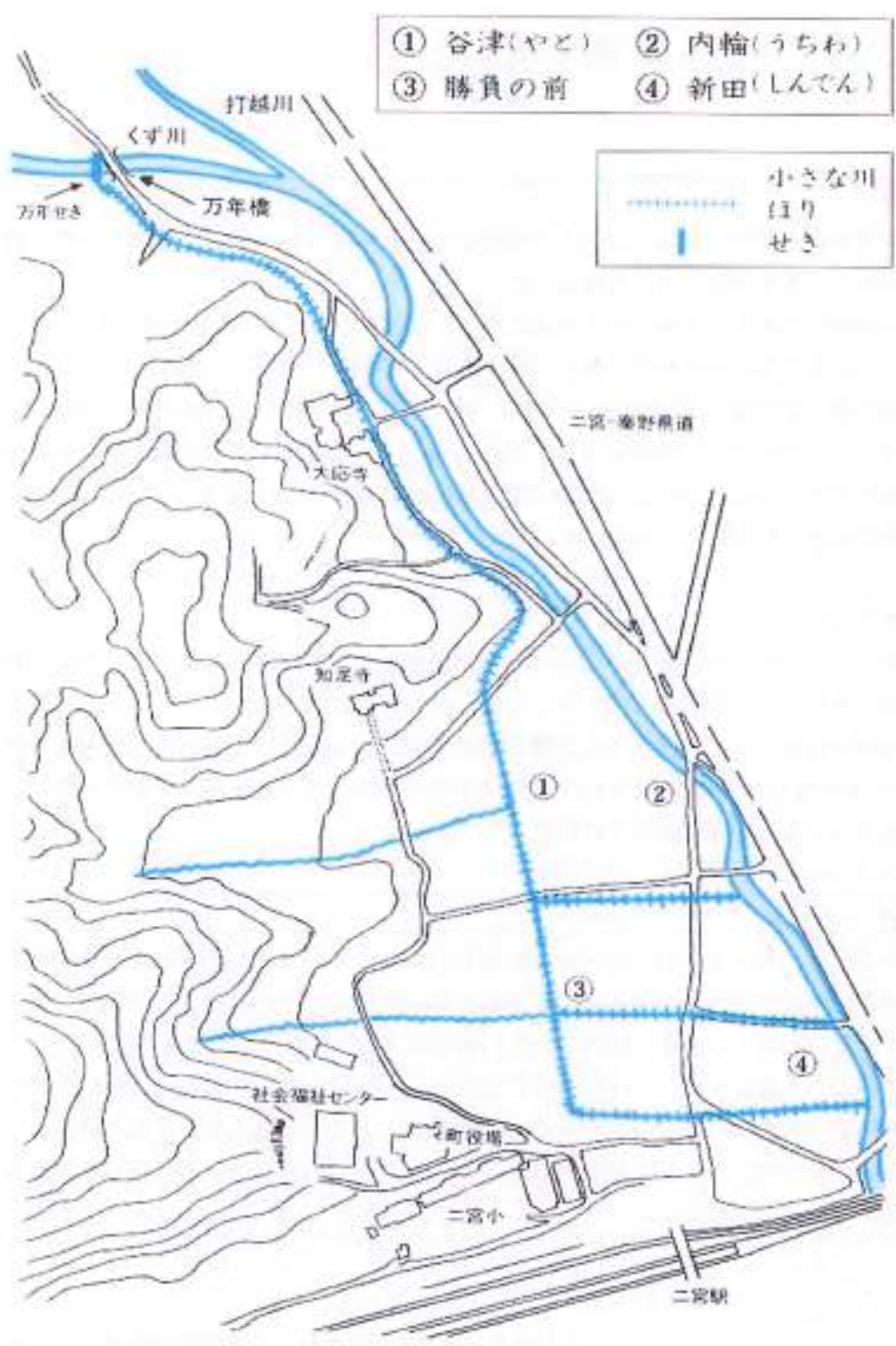
また、高頼は代官として、天領（江戸幕府が直接支配する土地）であった二宮をよくおさめました。仏教を信じる心もあつく、大応寺のために力をつくしたと伝えられています。高頼のお墓は今でも大応寺に残っています。

### お年寄の話

毎年6月ごろに、ほりをきれいにするほりさらいがおこなわれました。約7ヶ月の間に土や落ちばなどがほりにたまりますので、それらをとりのぞくためです。大ぜいの人たちが協力してほりさらいをします。朝早くから、中里の「万年せき」からはじめます。大応寺の下のあたりまでくると、ほりが深くなり とりのぞく量も多くなるので大変です。まして6月の暑いころですのでみんな大変つかれます。どろどろの土などが顔や体につくし汗もびっしょりです。でもみんななまけません。ほりさらいをしないと、田に水が入らず、田うえができないからです。

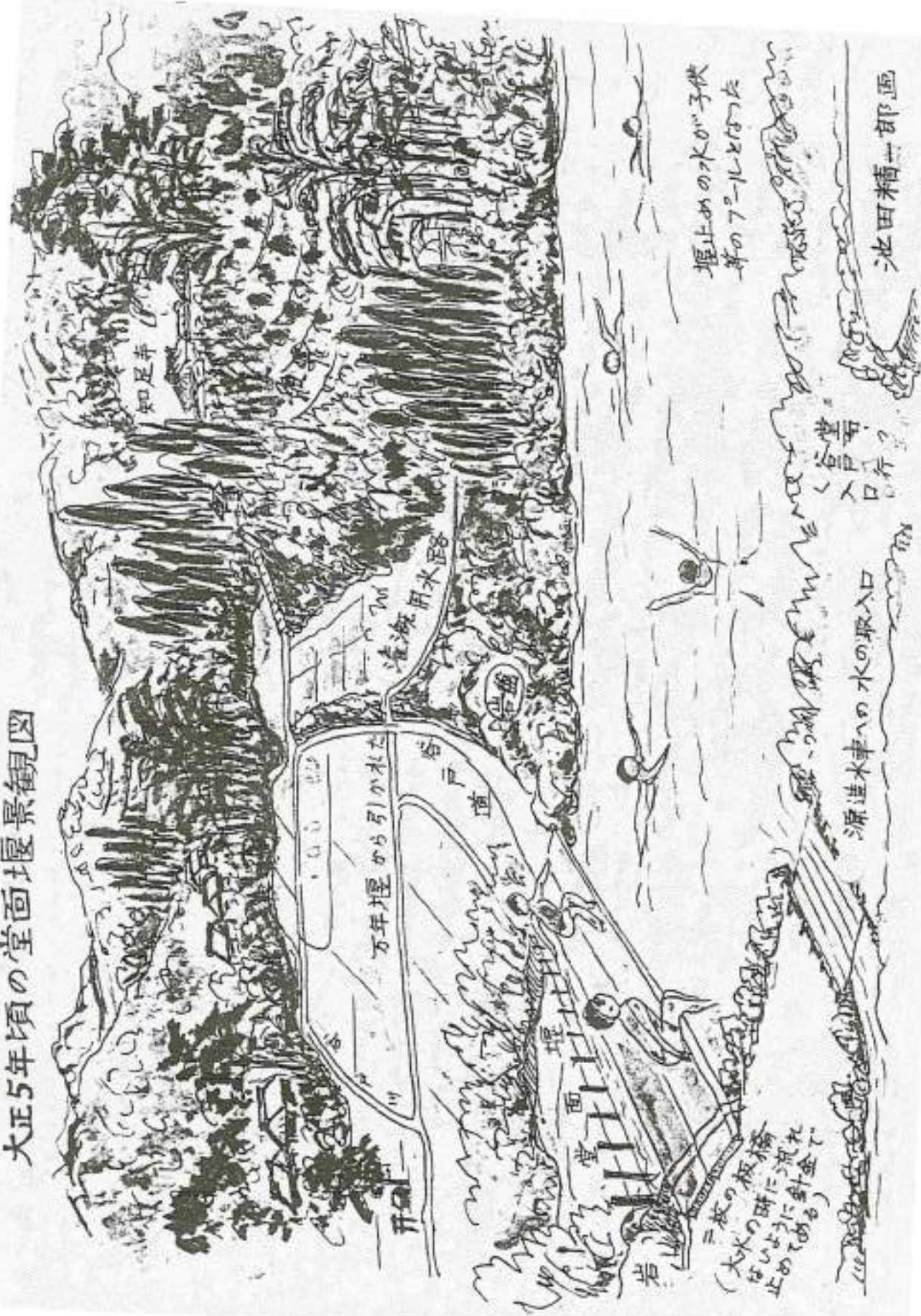
「にのみや」昭和62年5月 二宮町教育委員会 より





「にのみや」昭和62年5月  
二宮町教育委員会

大正5年頃の堂面堰景観図





## 7 大正時代(大正5年 1916年)の堂面堰の自然プールについて

昔から堂面に葛川をせき止めた堰があった。この堰は水車を回転させるために作られたもので、堰の上辺から東に向かう水取り口がつくられ 3mくらいで南に曲がり、葛川に並行して南流し、田代川と合流する前で水車を回していた。

この堰はちょうど知足寺山の東南端が葛川に接する所に基盤である二宮層(凝灰質砂礫岩)が露出しているのので、堰きとめの横柱を支えるのに格好な場所であった。堰きとめのそばには 2 枚の長い厚い杉板が二枚並べて渡してあり、谷戸へいく懸け橋として重要な役割をはたしていた。

いうまでもなく、この堰によって回されていた水車は、米、麦、粉の精製が行われ二宮の農家にとっては食糧上なくてはならないものであった。

この堰によって堰きとめられた水面は鏡のように静かで自然の大きなプールであった。

元町の子どもたちは、夏になるとここを唯一の水泳場として利用し、遊びに行くものが多かった。泳げないものは堰下の泳ぐ練習をしたり、魚とり等をして遊んでいた。板のかけ橋から川上に向かって直線で約 50 メートルくらいあったから、板橋をスタート線として共栄をしたりした。特に 8 月の夏休みには午前中からにぎやかで、塩海や中里のほうから泳ぎに来る子どももいた。おそらく元町の子どもたちが泳げるようになったのはこの堰のおかげに因るものが多いだろう。

次に、この堰上にはハヤ、鯿等がたくさんいたので、夏の夕方は魚釣りでにぎやかだった。大人と子供が入り混じっての風情は奥ゆかしくてものであった。子どもたちのつりざおは竹やぶから細い竹を切ってきたもので、釣り糸は黒の木綿糸で浮きはきびがらを 3 センチぐらいに切ったものだった。

池田精一郎

「大正初期の正月行事と元町地域の景観その変貌」より

## 8 原田堰と原田用水

池田 精一郎

南新道(秦野街道)<sup>1)</sup>にある吉田屋の前から葛川に向かって下って六尺幅くらいの坂道があった。葛川に接する所で直角的にまがって原田橋があり原田と秦野街道を結ぶ唯一の道となっていた。

大正の初期頃は原田地域はほとんどが畑で家屋は峰岸山の麓に並んだ景観だった。

畑一帯は砂質土でさつま芋が多く作られ、麦などはあまり生育が良くなかった。

原田橋は木造橋で大水があると時々流失して通れなくなり、東海道線の鉄橋を渡って学校に行ったり、塩海や南新道への往来をした。

この原田橋のすぐ北側に原田堰があった。(現在の商工会館の北辺の葛川岸壁に用水取り入れ口の跡が残っている)

この原田堰は江戸時代に作られたものと思われる。すぐそばの新田までは中里の万年堰で灌漑して水田開発が行われ、上川久保、下川久保地域がこの原田堰で水田化されたものである。

国鉄東海道本線の土堤下に強固な土管が敷設され、その土管を通して灌漑用水が上川久保から下川久保に流れて水田開発をし、二毛作地帯になったことは勝負前と同様である。従って国鉄敷設以前<sup>2)</sup>からこの用水路があったことは明らかである。今でも脇さんの家の庭先の線路土堤下にこの用水路の土管口が残っている。これは昔を語る貴重な記念的史跡である。

原田堰の維持管理は上川久保、下川久保の水田所有者及び耕作者と水車経営者によって行われていた。

原田堰の灌漑用水を使って水車を回し、原田や塩海方面(上、中、下町)の精米、精麦、製粉等が行われ、食糧上の使命を果たしていた。

この灌漑用水路は国鉄線土堤下を通り、上川久保水田地域の中央を東流して下町の片岡氏宅のそばで東海道を横断して、下川久保に入り東海道に沿う土堤下を東流して葛川に挟まれた水田を開発していった。

しかし、宅地化造成という時勢の波によって、これらの地域は宅地化され、特に二宮一秦野新県道敷設によって上川久保は昔の姿を全く消滅して一変した商業街となり、下川久保は土地区画整理によって宅地化し、原田地域は一面の住宅地化となった。

池田精一郎

「大正初期の正月行事と元町地域の景観その変貌」より

<sup>1)</sup> 秦野街道とあるのは旧秦野街道を指すものと思われる。

<sup>2)</sup> 東海道本線が国府津まで通ったのは1887年



## 9 二宮町田畑用水路図(1815年頃)



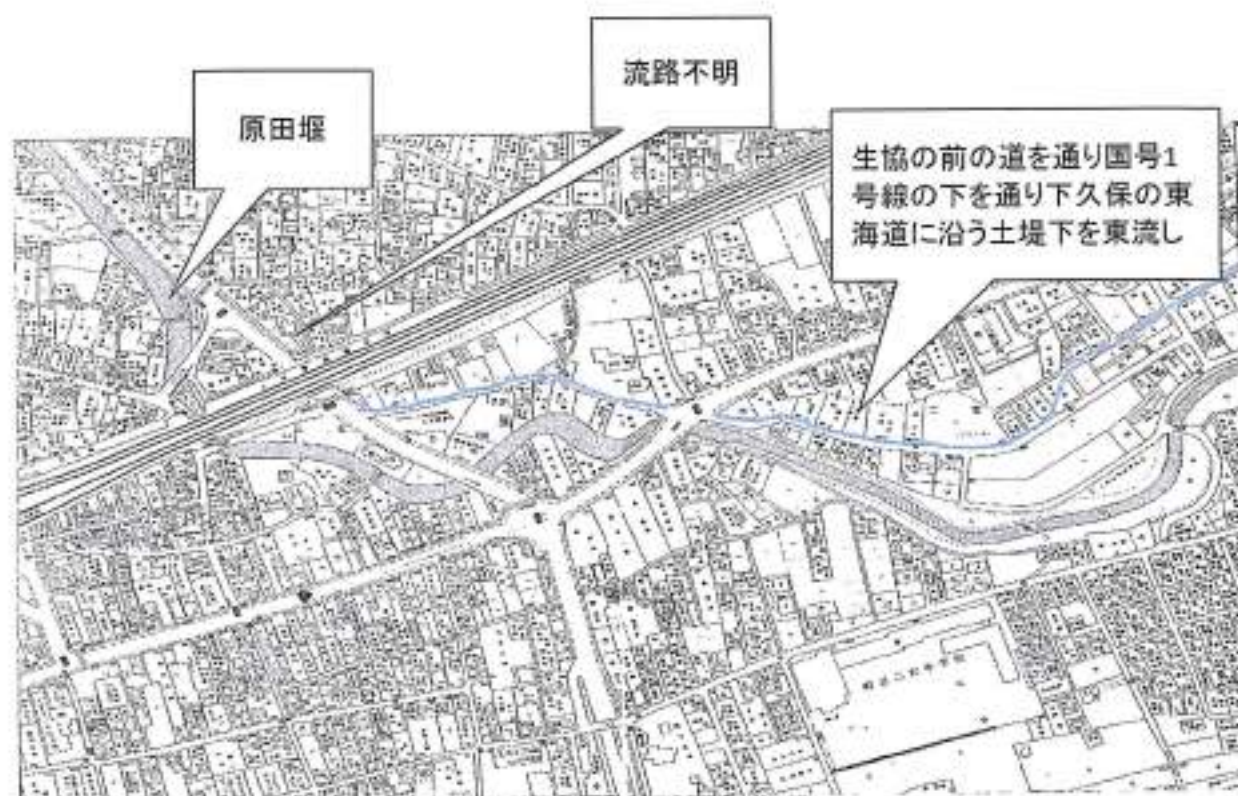
## 10 葛川の慣行水利権の現状調べ

名称	場所	経過	現状
1 原田用水組合	二宮町二宮1156(左岸) * 商工会そば	昭和50年ごろに埋め立てを行った際に廃止	未使用 現存せず
2 上堰用水組合	二宮町下川久保425先(左岸)* 大磯境?	* 大磯町在住	詳細不明
3 馬田堰用水組合	二宮町一色1329先(右岸) * サニーライフそば	西友ができるまで(昭和56年)田んぼに利用	未使用 現存せず
4 中堰用水組合	二宮町一色1329先(左岸) * サニーライフそば		使用中
5 上堰用水組合	二宮町一色1210先(左岸) * マックスパリュウら	西友ができるまで(昭和56年)田んぼに利用	未使用 跡あり

二宮町産業振興課 平成26年(2014年)4月13日 より

## 11 原田用水流路

昭和41年明細地図をもとに





1978年(昭和53年)2月3日 金曜日

# よみがえれ 葛川の清流



葛川清掃隊のメンバー(左)と(右)が、清掃活動の様子を撮影している。

「よみがえれ」運動の推進に力を入れている。その一環として、川沿いの清掃活動が盛んに行われている。この活動は、川の水質を浄化し、自然環境を回復させることを目的としている。参加者は、ゴミの回収や、川床の清掃などを行っている。

## 三人組、コツコツ運動

### 汚染調査や看板 川清掃しコイ放流

三人組の活動は、川の水質調査や看板の設置、川沿いの清掃、そしてコイの放流などを行っている。彼らは、川の水質を定期的に調査し、その結果を公表している。また、川沿いの看板を設置することで、住民に水質汚染の危険性を知らせ、清掃活動に参加を促している。さらに、川にコイを放流することで、川の水質を浄化し、自然環境を回復させることを目指している。

この活動は、川の水質を浄化し、自然環境を回復させることを目的としている。参加者は、ゴミの回収や、川床の清掃などを行っている。また、川の水質を定期的に調査し、その結果を公表している。さらに、川にコイを放流することで、川の水質を浄化し、自然環境を回復させることを目指している。





